

令和6年度
尼崎市民芸術賞
推薦要領

締切日 令和6年7月12日（金）

【推薦方法】

1. 推 薦 書 「尼崎市民芸術賞候補者推薦書」による
2. 募 集 期 間 令和6年6月12日（水）～7月12日（金）＜必着＞
3. 提 出 先 尼崎市昭和通2丁目7-16（〒660-0881）
（公財）尼崎市文化振興財団 美術課美術担当
T E L : 06-6487-0806
F A X : 06-6482-3503
Eメール : bunka@archaic.or.jp

「尼崎市民芸術賞」表彰要綱

1. 目 的

この表彰は、芸術性の高い優秀な作品等を創作し、全国規模の活動を展開している者を顕彰することによって、市民の芸術文化創造への意欲を喚起し、本市の芸術文化の振興を図ることを目的とする。

2. 名 称

尼崎市民芸術賞（以下「芸術賞」という。）と称する。

3. 表彰基準

尼崎市出身、尼崎市内に居住または勤務する者で、芸術性の高い優秀な作品を創作し、全国規模の活動を展開している者、もしくは、尼崎市出身、尼崎市内に居住または勤務していることをとわず、尼崎市においてその活動が顕著で、本市の芸術文化の振興に貢献した者。

活動分野

文学、音楽、美術、写真、演劇、舞踊、メディア芸術、その他の芸術

4. 選考方法

- (1) 公募（自薦または他薦をとわない。）を原則とし、表彰基準に該当する者を推薦しようとする者は、別に定める「尼崎市民芸術賞候補者推薦書」にて申し出る。
- (2) 表彰を受ける者は、前項の候補者の中から選定する。
- (3) 市長は前項の選定にあたって、公正かつ適切に行うため、芸術賞選考会の意見を聞いて決定する。
- (4) 芸術賞選考会は、公益財団法人尼崎市文化振興財団（以下「財団」という。）により各芸術分野に精通した5人以内の委員で組織されるものとする。
- (5) 委員の任期は2年とする。ただし再任することを妨げない。再任による任期は最長で5期10年までとする。

5. 表 彰

- (1) この表彰は、市及び財団が協働で年1回行う。
- (2) 被表彰者に、表彰状及び副賞を贈る。
- (3) 被表彰者は、芸術賞1人とする。

6. そ の 他

この要綱に定めるもののほか、表彰に必要な事項は市長が別に定める。

付 則

この要綱は、昭和39年6月1日から施行する。

令和5年5月30日 最終改正

尼崎市民芸術賞候補者推薦書

候補者	ふりがな		生年月日	大・昭 平・令	年 月 日 (歳)
	氏名				
	ふりがな				
	住所	〒			
	TEL		職業		
	Eメール				
	本市との 関わり	<input type="checkbox"/> 尼崎市出身 <input type="checkbox"/> 市内に居住 <input type="checkbox"/> 市内に勤務 <input type="checkbox"/> 市内に活動の拠点がある <input type="checkbox"/> 市内での顕著な活動がある	所属		
活動分野	<input type="checkbox"/> 文学 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 美術 <input type="checkbox"/> 写真 <input type="checkbox"/> 演劇 <input type="checkbox"/> 舞踊 <input type="checkbox"/> メディア芸術 <input type="checkbox"/> その他の芸術()				

推薦理由

○当賞に相応しいと推薦する理由を、芸術文化の振興、地域への貢献が分かるよう具体的にご記入ください。

○経歴・受賞歴等

(記入例)昭和〇〇年〇月兵庫県尼崎市生まれ、平成〇〇年3月〇〇大学〇〇学部卒業

○特筆すべき活動歴

時期、活動内容が分かるよう箇条書きでご記入ください。

(記入例)平成〇〇年〇月〇日 〇〇(場所・会場)にて「〇〇〇〇」を開催。平成〇〇年〇月「〇〇」を出版。

【必須】選考の参考になる資料(例)作品集・チラシ・プログラム等の印刷物、写真、DVD、CD等を推薦書に同封ください。

尼崎市民芸術賞表彰要綱に基づき、表彰基準に該当するものとして、上記の者を推薦します。

令和 年 月 日

推薦者	ふりがな		TEL	
	氏名			
	ふりがな			
	住所	〒		
	候補者との関係	(所属団体の会員を推薦等があれば記載)		

「尼崎市民芸術賞」及び「芸術奨励賞」過去の受賞者名一覧

回	年度	賞	氏名	部門
1	昭和39年	芸術	前田 正夫	洋画
		奨励	田辺 聖子	文学
2	昭和40年	芸術	白髪 一雄	洋画
		奨励	布田 源之助	随筆
3	昭和41年	芸術	岡本 静心	文学
		奨励	増山 浩康	日本画
4	昭和42年	芸術	大高 猛	グラフィックデザイナー
		奨励	野田 房吉	和船模型
5	昭和43年	芸術	伊丹 三樹彦	俳句
		奨励	荻原 一青	日本画
6	昭和44年	芸術	岩宮 武二	写真
		奨励	池水 慶一	造形美術
7	昭和45年	芸術	前川 龍山	書道
		奨励	一輪亭 花咲	芸能
		奨励	小林 陸一郎	造形美術
8	昭和46年	奨励	伊丹 公子	文学
		奨励	長久 大徳	書道
9	昭和47年	芸術	桂 米朝	芸能
		奨励	清水 影村	書道
10	昭和48年	芸術	穎田島 一二郎	文学
		奨励	中村 百合子	洋画
		奨励	園部 琴城	書道
11	昭和49年	奨励	片岡 敏男	写真
		奨励	森田 暁	俳句
		奨励	和田 正義	彫刻
12	昭和50年	芸術	豊竹 団司	義太夫
		奨励	小山 鳥雲	書道
13	昭和51年	芸術	佐藤 宋石	書道
		奨励	赤井 藤男	能楽
14	昭和52年	芸術	三村 幸一	写真
		奨励	有方 敏郎	洋画
15	昭和53年	芸術	小寺 勇	俳句
		奨励	木村 四郎	声楽
16	昭和54年	芸術	前田 野生子	俳句
		奨励	萩本 紫苑	書道
17	昭和55年	芸術	中村 茂雄	洋画
		奨励	小林 志保里	書道
18	昭和56年	芸術	井上 大彊	書道
		奨励	田中 修二	音楽
19	昭和57年	芸術	菖蒲 洸	日本画
		奨励	吉田 廣喜	現代美術
20	昭和58年	芸術	竹田 長年	洋画
		奨励	西川 香龍	書道
21	昭和59年	芸術	赤羽 恒男	洋画
		奨励	小林 とし	音楽
22	昭和60年	芸術	藪田 泰生	書道
		奨励	有野 永霧	写真
23	昭和61年	芸術	木川田 誠	声楽
		奨励	坪内 稔典	俳句 評論

回	年度	賞	氏名	部門
24	昭和62年	芸術	富田 克	洋画
		奨励	村上 宋苑	書道
25	昭和63年	芸術	中島 双風	俳句
		奨励	田崎 徹	洋画
26	平成元年	芸術	嶋中 蓬春	書道
		奨励	松田 彰	現代美術
27	平成2年	芸術	亀井 幸太郎	染色図案
		奨励	山村 啓雄	能楽
28	平成3年	芸術	吉原 栄徳	文学
		奨励	辻井 清幸	音楽
29	平成4年	芸術	望月 美佐	書道
		奨励	松尾 昌美	指揮
30	平成5年	芸術	山岡 哲山	吟詠
		奨励	星野 尚	タラセア
31	平成6年	芸術	吉田 泰巳	茶華道
		奨励	笠井 隆良	洋画
32	平成7年	芸術	栗山 昌良	オペラ演出
		奨励	尼子 騷兵衛	漫画
33	平成8年	芸術	武下 和平	奄美民謡
		奨励	芦原 昌子	声楽
34	平成9年	芸術	安迪	日本画
		奨励	坂上 弘志	器楽
35	平成10年	芸術	古谷 充	器楽
		奨励	山岡 桜山	吟詠
36	平成11年	芸術	木村 吉宏	指揮
		奨励	浜本 隆司	現代アート
37	平成12年	芸術	宗清 洋	器楽
		奨励	本家 規代	器楽
38	平成13年	芸術	藤間 勘二郎	邦舞
		奨励	阪本 朋子	器楽
39	平成14年	芸術	有野 永霧	写真
		奨励	吉田 早夜華	声楽
40	平成15年	芸術	桂 吉朝	芸能
41	平成16年	芸術	古澤 巖	器楽
		奨励	石本 興司	演劇
42	平成17年	芸術	横田 浩和	声楽
		奨励	金子 浩三	音楽
43	平成18年	芸術	内藤 裕敬	演劇
		奨励	小西 潤子	声楽
44	平成19年	芸術	山本 昭子	染色
		奨励	橘 久美子	演劇
45	平成20年	芸術	辻井 清幸	指揮
		奨励	尾崎比佐子	声楽
46	平成21年	芸術	河井 喜代子	染色
		奨励	畑田 弘美	声楽
47	平成22年	芸術	川口 和彦	洋画
		奨励	牧村 邦彦	指揮

